※令和４年度以降入学生用

学校番号	322

令和５年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次（普通科）
使用教科書	「現代の国語」　（数研出版）						
副教材等	高校国語への入門（浜島書店）、新版二訂みるみる実力アップ現代文１（第一学習社）、新版意味から学ぶ頻出漢字 3000（第一学習社）、新訂国語図説六訂版（京都書房）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・説明的文章や実用文を通して、社会で必要な言葉に関する知識や論理的な思考力を身に付けるとともに学習の土台となる「読む力」を養います。また、自分の考えを伝えたり、他者の意見を理解したり、コミュニケーションに関わる力を伸ばします。
・教科書だけでなく、図説や一人一台端末なども積極的に使います。
・定期的に家庭学習等の提出物があります。

２　学習の到達目標

・実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにする。
・論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
・言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	実社会に必要な国語の知識や技能を身に付けるようにしている。	「話すこと・聞くこと」、「書くこと」、「読むこと」の各領域において、論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにしている。	言葉を通じて積極的に他者や社会に関わったり、思いや考えを広げたり深めたりしながら、言葉がもつ価値への認識を深めようとしているとともに、進んで読書に親しみ、言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	「読む」と「書く」 ［教材］ 「書けない日々」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：文章の論理展開や表現を粘り強く読み取って筆者の主張を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	社会と文化 ［教材］ 「コミュニケーション能力とは何か」、「水の東西」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[読]：目的に応じて、文章に含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈するとともに、自分の考えを深めている。 c：二つの文章において筆者が論じている内容を粘り強く読み解いて、その要点を理解し、学習課題に沿って適切に説明しようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
二学期	新しい視点 ［教材］ 「『わらしべ長者』の経済学」、「政治的思考」	a：文、話、文章の効果的な組立て方や接続の仕方について理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：自分の考えが適切に伝わるように、主張や論拠の説明を積極的に補足しながら意見交換を行い、学習課題に沿って自分の考えをさらに深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	実用の文章 ［教材］ 「資料を分析して考えをまとめる」	a：情報の妥当性や信頼性の吟味の仕方について理解を深め使っている。 b[書]：目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 c：課題資料を踏まえて積極的に身近な例を考え、学習課題に沿って具体的にまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査	ワークシート
	ことばの働き ［教材］ 「ものとことば」、「知識のシステムをつくる」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の意見を踏まえた具体的事例を粘り強く分析し、学習課題に沿って自分の考えを深めようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
三学期	人間と時間 ［教材］ 「時を編む人間」	a：言葉には、認識や思考を支える働きがあることを理解している。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の考えを粘り強く読み解き、学習課題に沿ってまとめようとしている。	ワークシート 定期考査	ワークシート 定期考査 ノート	ワークシート ノート
	認識の枠組み		ワークシート	ワークシート	ワークシート

※令和４年度以降入学生用

	［教材］ 「白」	a：比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[読]：文章の種類を踏まえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述を基に的確に捉え、要旨や要点を把握している。 c：筆者の主張を理解したうえで自分の考えを深め、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。	定期考査	定期考査 ノート	ノート
	言語技術の実践 ［教材］ 「ディベート・討議」	a：推論の仕方を理解し使っている。 b[話／聞]：論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現の仕方を評価している。 c：ディベートにおける論理の一貫性について進んで検討しようとしている。また、ディベートを踏まえて、自分の考え方について振り返り、積極的に話し合おうとしている。	ワークシート	ワークシート	ワークシート

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　20　）時間

・書くこと　…　（　30　）時間

・読むこと　…　（　20　）時間